

南日本放送

活動名	MBC アナウンサー 読み聞かせ会
実施期間	令和6年10月～令和7年1月
実施回数	会場6回
貸与・配布期間	令和7年2月
貸与・配布対象数	11作品・11カ所

【事業実施の成果・課題】

- ・今年度は多くのアナウンサーが朗読する機会を設けることができました。対面での緊張感、直接反応が返ってくることのおもしろさは、放送では味わえない「伝え手としてのやりがい」を感じることができました。
- ・【第5回】(クリスマスおはなし会)は、朗読×生演奏を実現させたいと、地元で音楽を学ぶ大学生と初めて組んで、約半年かけて計画を進めた。お互いに良い経験の場になり、次回も計画している。
- ・鹿児島ゆかりの作家、椋鳩十生誕120年をきっかけに、これまであまり椋作品に触れたことがなかった若手アナウンサーも読む機会を作ることができました。

【事業担当者およびアナウンサー（講師・読み手）の感想】

- ・練習会では、先輩アナウンサーからアドバイスをもらうことができ、勉強になった。
- ・表情のつけ方や間の取り方で、子どもたちからクスッと笑い声が聞こえると、気持ちに乗ってますます読むことが楽しくなった。
- ・生演奏ありの朗読は初めてで、大学に行って練習もした。学生たちも熱心に取り組んでくれて、一緒に素敵なクリスマスイベントを作ろうと気が入った。
- ・終わった後に、直接感想を聞くことができてうれしかった。

【教諭・保育士・子どもたち・視聴者などの感想】

<小学生の感想>

- ・教室で声を聞いて、「ラジオで聞いている声だ！」とすぐわかった。
- ・本の中から声が聞こえてくるみたいだった。

<会場の感想>

- ・目をつむって聞いていると、情景が浮かんできた。
- ・いくつになっても絵本を読んでもらうのはうれしい。
- ・家でも子どもたちに積極的に読み聞かせをしたい。

<朗読会場のスタッフ感想>

- ・クリスマスのおはなしは、キラキラな世界観に引き込まれるようで、声の抑揚など、とても勉強になりました。会場があふれるほどのお客さまとともに年代問わず同じ時間を過ごせたこと、大変嬉しく思います。